

六 獨立混成第二十九旅團の作戰準備

四五

タボイ、メルギー地区の陣地施設を概成し又メルギー、テナセリウ
ムーブラチャップキリカント道を自動車道に改修し諸隊新配置の感
かんとして終戦となる。

七 第五十三師團の戦進

未だ緬甸國內に在り、軍との連絡成らずして終戦とせり。

第六章 終 戦

八月に入るや外國放送は頻りに日本降伏を豫想せしむるものあるのみ
ならず八月六日廣島の原子爆弾による惨害及八月九日に於ける蘇連の
参戦放送等事態は全く豫断を許さざるものあり。

茲に於て軍は各兵団に其状況を通報し萬一事態の急変あるも一絲亂れざ
る統制の下嚴肅なる軍紀を維持を要望すると共に再三總司令部に幕僚
を派遣し萬一に應ずる措置に関し軍の決意を具申するところあり。

0594

斯くて八月十五日終戦の詔勅あり同十六日総司令部に於て軍司令官會同実施せられ南方軍の纏ふべき所を明示せられ爾後軍の復員業務は極めて齊整に実施せられたり。

泰國側との友好関係が終戦後に於ても何等異変なかりし事は特筆に値す。蓋し、第一章に概説せる日泰兩國の歴史的關係と軍の對泰態度が終始一貫道義に則りつゝも棄ずべき虚隙を與へざりしに起因するものと謂ふべし。

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="692 577 1145 967"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	2	3								
4	5	6								
7	8	9								
分割撮影した理由	A 3版以上のため									
文書等名	第18方面軍 作戦指導要領腹案要図									
上記のとおり分割撮影したことを証明する。										

0596
0597
0598

0599
0600
0601

0602
0603
0604

第十八方面軍作戰指導要領腹案要圖

東北昭泰防衛部隊

歩三大
砲一大

22D

ウブソ

コンケン

要領腹案西文圖

東北防衛部隊

歩三大
砲大 / 22D

ウドン

コンケン

ロイエスト

ウタ

ウララト

611/4D
22D

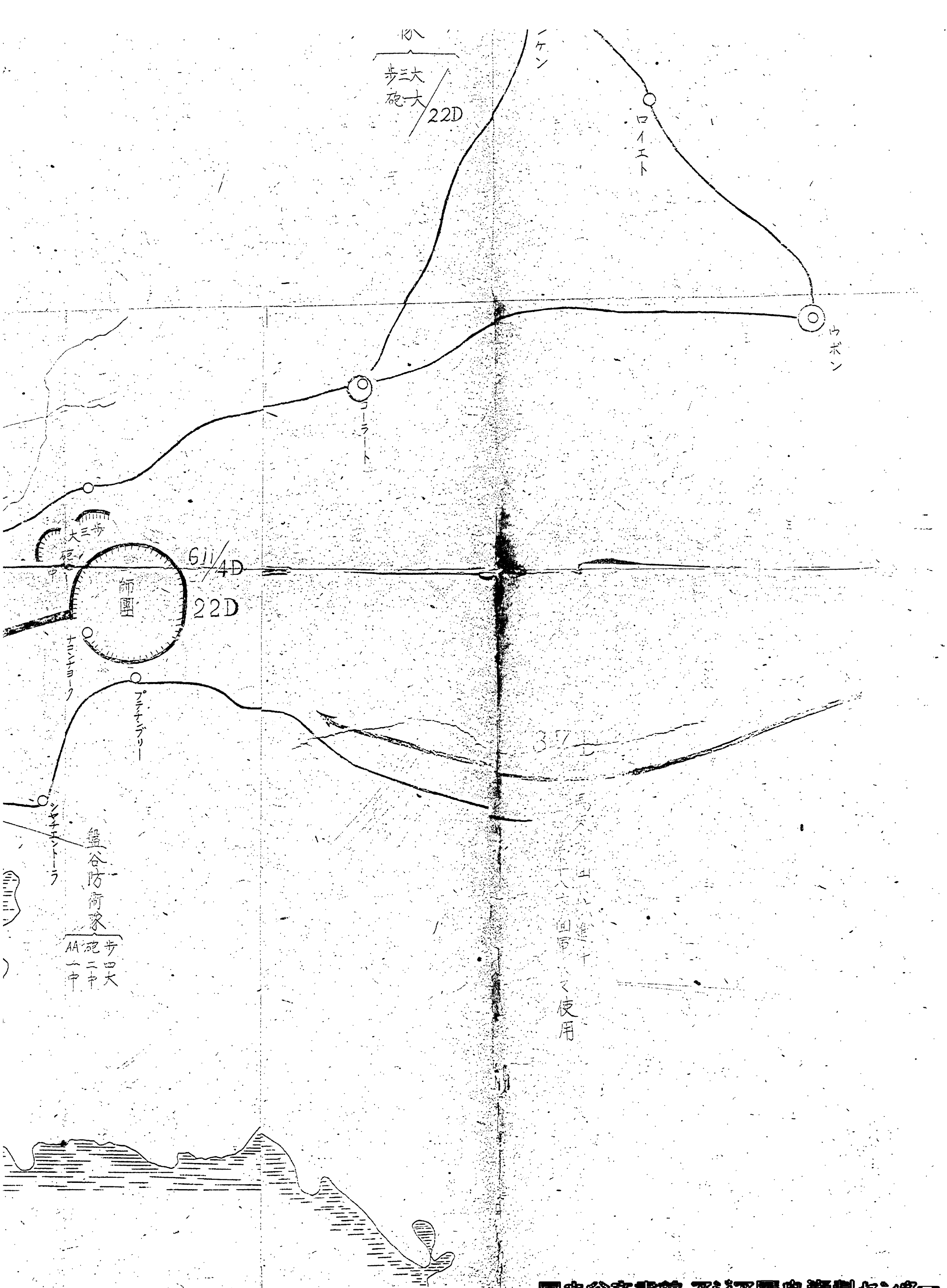
師團

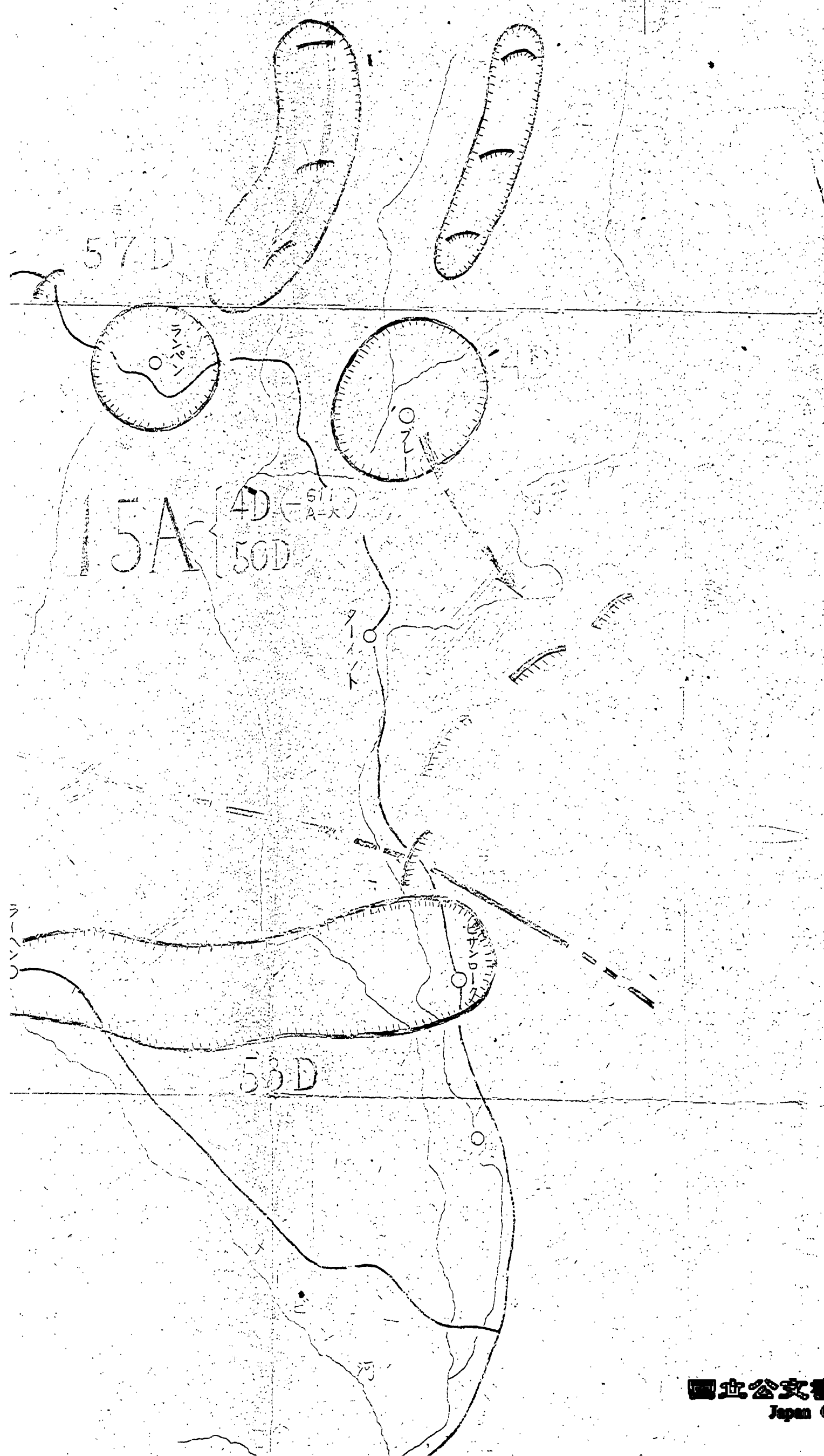
大三歩

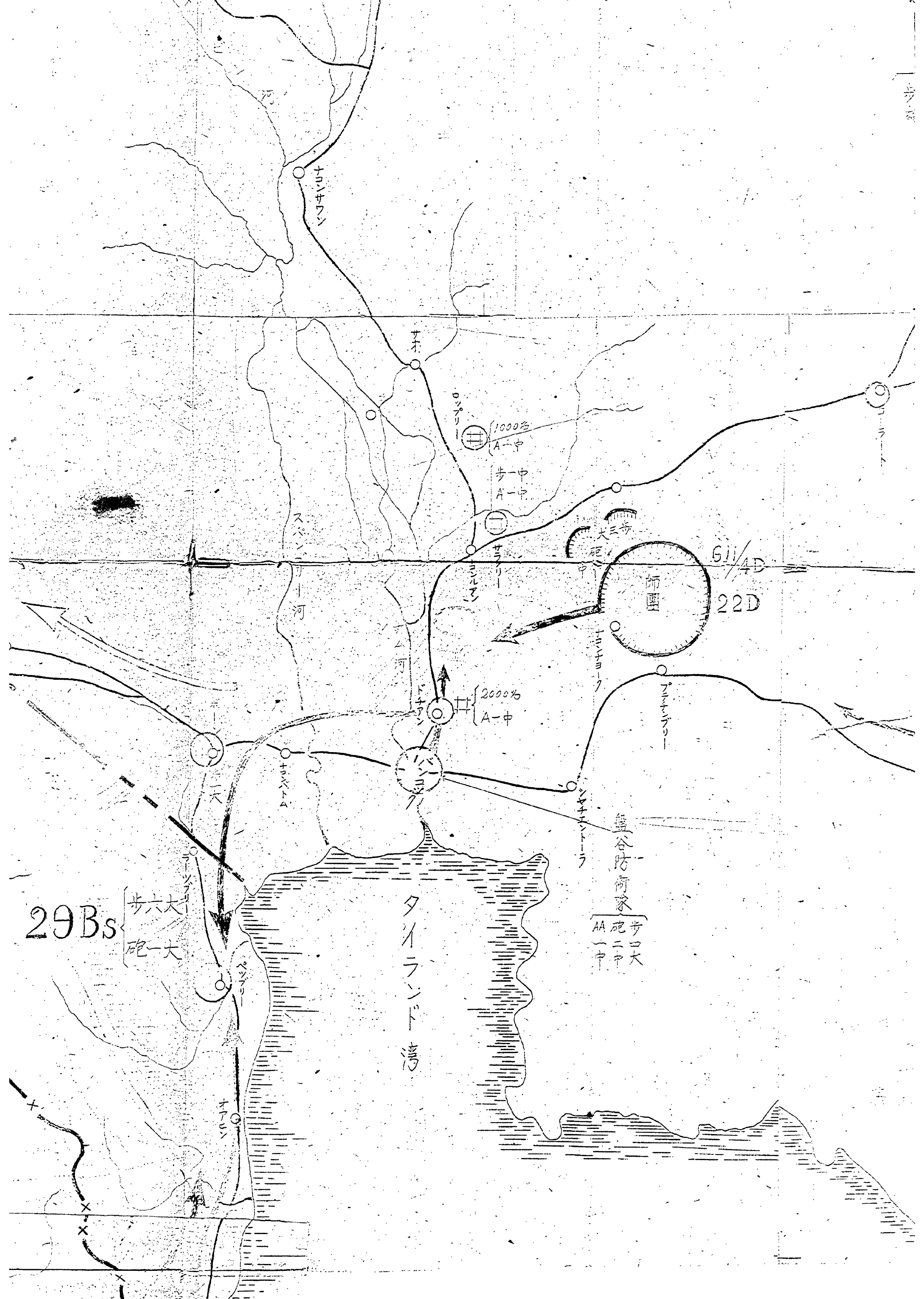
砲

パンナム

37D





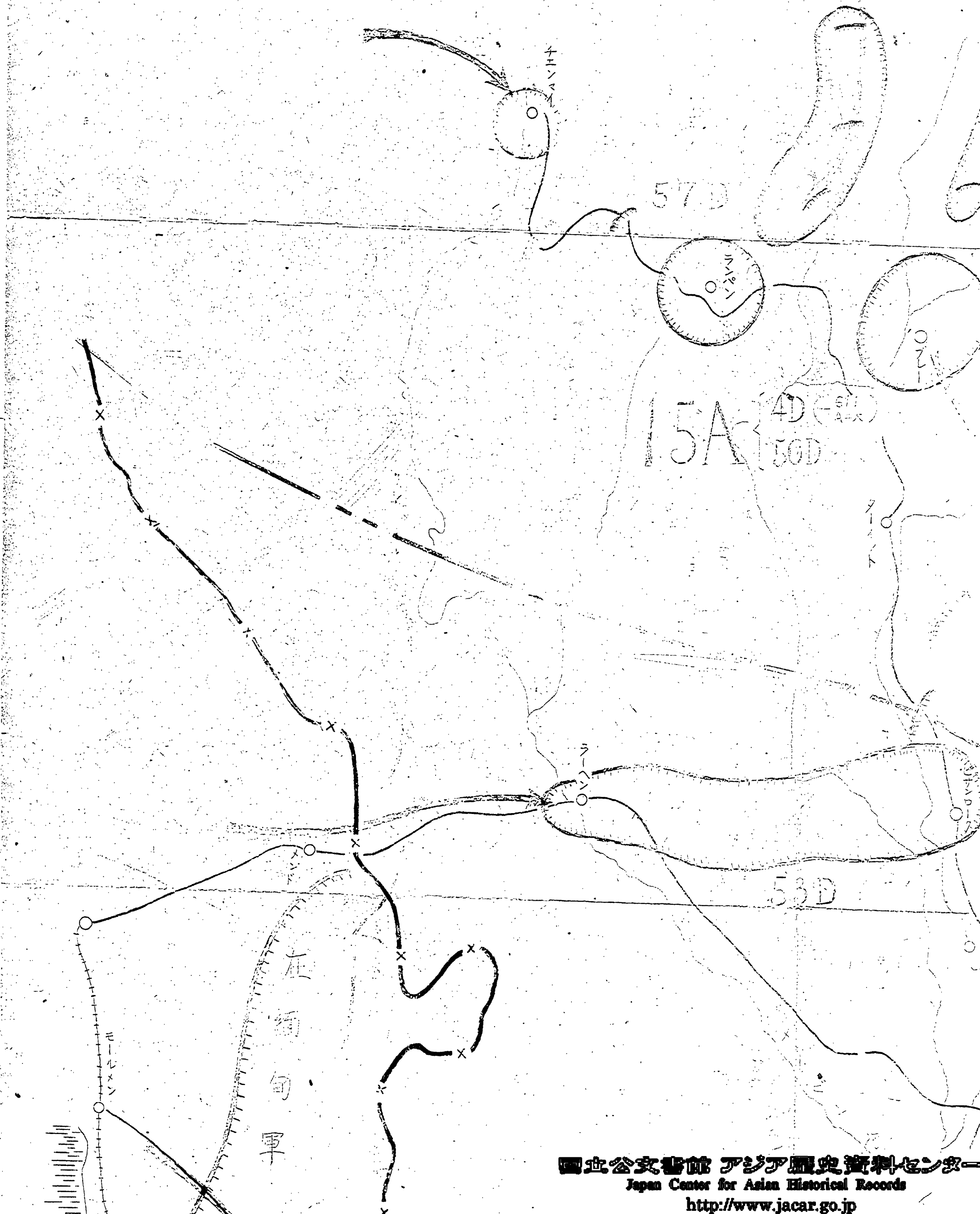


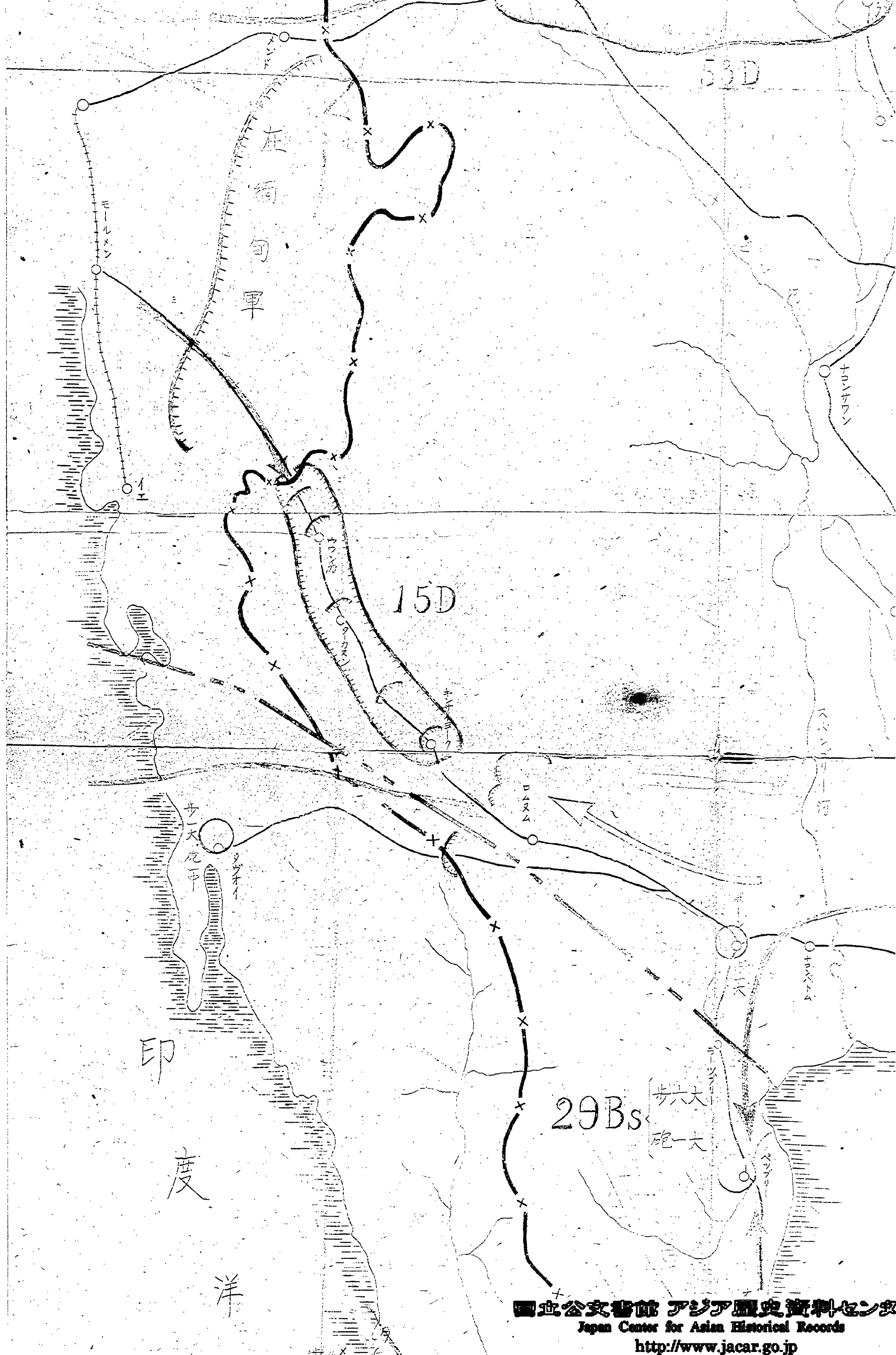
29Bs

歩六大
砲一大

タイランド湾

盤谷防衛隊
歩砲
砲二
中一大





在葡甸軍

53D

15D

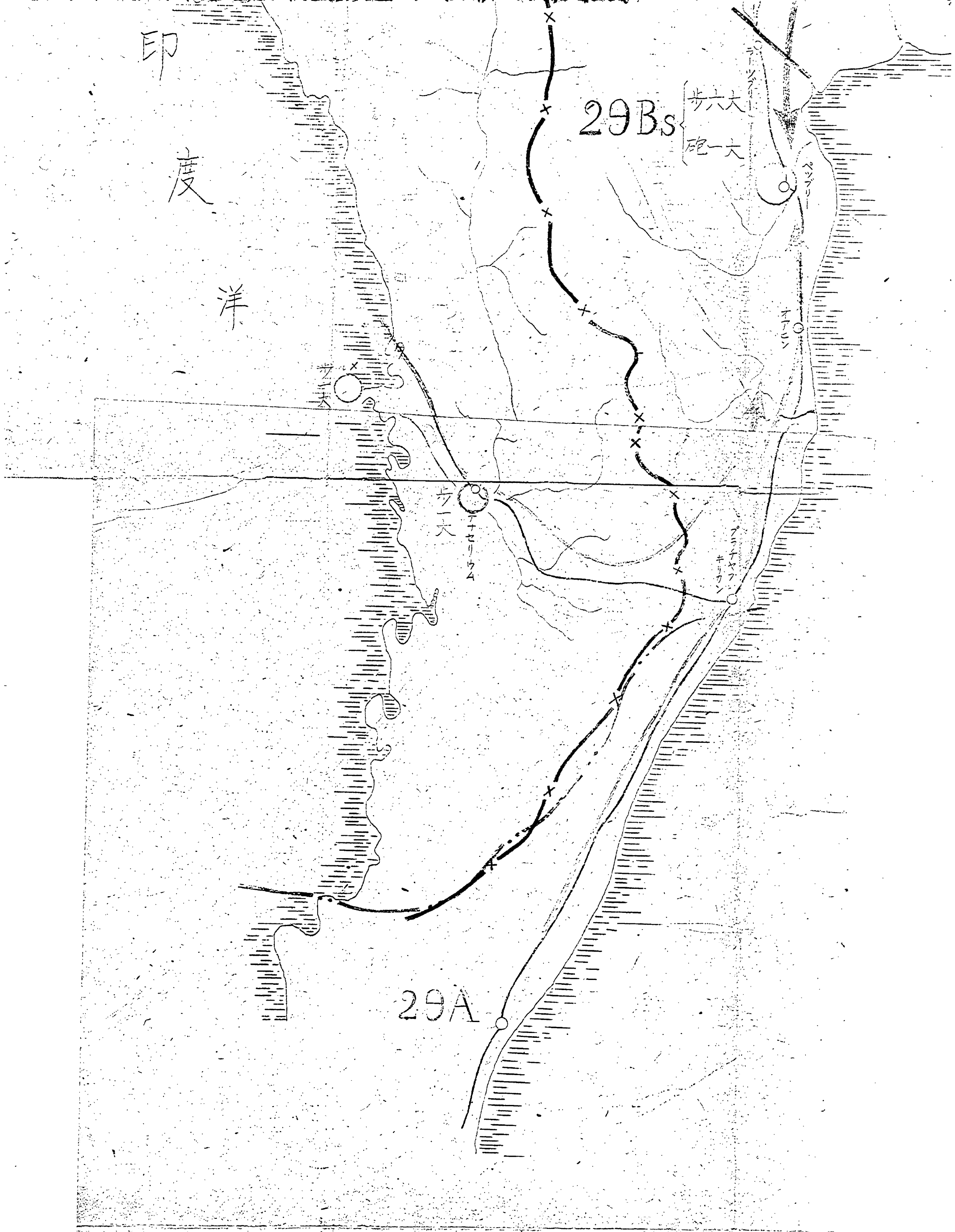
29Bs

サ大砲一
砲一大

印

度

洋



印

度

洋

29Bs

歩六大
砲一大

サマタ

歩一大

アナセリウ4

キリウ

29A